

湿地性カラー「熊本FC03」の切り花は、「グリーンゴッデス」より日持ちが優れる

県育成グリーン系湿地性カラー「熊本FC03」の切り花は、既存品種「グリーンゴッデス」より仏炎苞（ぶつえんほう）の萎れの発生までの日数が4日長く、日持ちが優れる。また、収穫後にミラクルミスト処理を行うことにより、仏炎苞の褐変および色褪せが抑制され、切り前が進んだ切り花でも日持ちが優れる。

農業研究センター農産園芸研究所花き研究室（担当者：日名田祐希）

研究のねらい

県育成グリーン系湿地性カラー「熊本FC03」は、親株の県内供給が令和6年度から開始されたが、日持ちは明らかになっていない。また、実需者から切り前の進んだ（図1の切り前V～VII）切り花を求める声があるが、その日持ちは明らかになっていない。

そこで、既存品種「グリーンゴッデス」との日持ちの差および切り前が進んだ切り花の日持ちを解明する。

研究の成果

1. 湿地性カラー「熊本FC03」は「グリーンゴッデス」と比較して、仏炎苞の萎れ始めまでの日数が4日程度長く、仏炎苞の褐変発生までの日数も5日程度長く、萎れの発生も緩やかである。また、色褪せ発生までの日数も10日程度長く、日持ちが優れる（表1、図2）。
2. 「熊本FC03」は、収穫時の切り前が進むほど仏炎苞の萎れ始めが早くなり、切り前VIIでは、水に生けてから8.3日で仏炎苞の萎れ始めるものの、ミラクルミスト処理を行うことにより27.0日と萎れ始めまでの日数が長く、萎れの発生も緩やかである。また、ミラクルミスト処理は仏炎苞の褐変および色褪せの抑制に効果があり、切り前が進んだ切り花の出荷に有効である（表2、図3、図4）。

成果の活用面・留意点

1. 「熊本FC03」の優位性や販売戦略の提示による普及拡大に活用できる。
2. ミラクルミスト処理は、仏炎苞をクリザールミラクルミスト（クリザール・ジャパン（株））500倍希釈溶液に瞬間浸漬した。
3. 花粉の発生は、切り前が進むほど早くなるものの、品質への影響は小さい。
4. 室温25℃以上では「熊本FC03」「グリーンゴッデス」とともに茎腐れが発生するため、保管温度は20℃以下が望ましい。



切り前 I II III IV (標準) V VI VII
 仏炎苞幅 1.5~ 3.5~ 4.5~ 5.5~ 6.5~ 7.5~ 9.5cm~
 3.4cm 4.4cm 5.4cm 6.4cm 7.4cm 9.4cm
 ※仏炎苞の幅は仏炎苞の横幅(図中 ←→)の最大値を測定

図1 「熊本FC03」における切り前

表1 日持ちにおける品種間差(試験1)

品種名	仏炎苞の萎れ		仏炎苞の褐変		緑色部の色褪せ	
	発生日(日)	発生率(%)	発生日(日)	発生率(%)	発生日(日)	発生率(%)
「熊本FC03」	14.6 ²	100	19.2	90	24.4	70
「グリーンゴッデス」	10.2	100	13.7	100	14.3	100
t検定 ¹	*		*		**	

n=10

² 日持ち試験開始から発生までの日数
 調査項目の発生がなかった個体は便宜上、調査終了の翌日までの期間(32日)として統計処理を行った

¹ **は1%水準で、*は5%水準で有意差あり

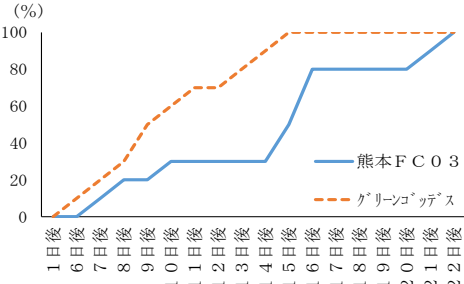


図2 仏炎苞の萎れ発生率の推移

n = 10 (試験1)

表2 「熊本FC03」の切り前とミラクルミスト処理が日持ちに及ぼす影響(試験2)

試験区	切り前	仏炎苞の萎れ		仏炎苞の褐変		緑色部の色褪せ	
		発生日(日)	発生率(%)	発生日(日)	発生率(%)	発生日(日)	発生率(%)
IV (標準)	ミラクルミスト処理	10.8 ² a ³	100	18.8	100	16.8	100
V	なし	9.5 ab	100	19.5	100	18.8	100
VI		9.3 ab	100	15.5	83	16.7	67
VII		8.3 b	100	12.7	100	16.3	100
IV (標準)	あり	28.7 a	33	(29)	0	(29)	0
V		28.7 a	33	(29)	0	(29)	0
VI		27.8 ab	67	(29)	0	(29)	0
VII		27.0 b	100	(29)	0	(29)	0
分散分析 ³	切り前	**		n. s.		n. s.	
	ミラクルミスト処理	**		**		**	
	交互作用	n. s.		n. s.		n. s.	

n=6

² 日持ち試験開始から発生までの日数
 調査項目の発生がなかった個体は便宜上、調査終了の翌日までの期間(29日)として統計処理を行った

³ 異なるアルファベット間には同ミラクルミスト処理において、5%水準で有意差あり

¹ 二元配置分散分析の**は1%水準で有意差あり、n. s. は有意差なし

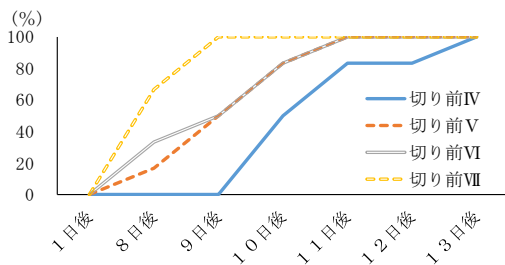


図3 「熊本FC03」におけるミラクルミスト無処理において切り前が仏炎苞の萎れ発生率に及ぼす影響

n = 6 (試験2)

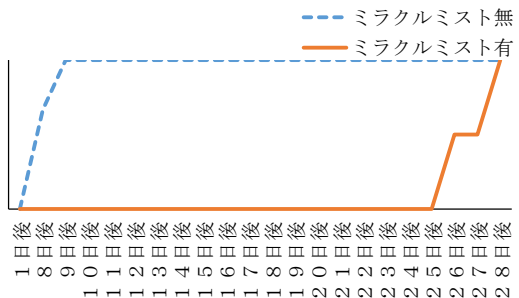


図4 「熊本FC03」における切り前VIIにおいてミラクルミスト処理が仏炎苞の萎れ発生率に及ぼす影響

n = 6 (試験2)

試験概要

試験	収穫日	収穫場所	切り前	ミラクルミスト処理	日持ち試験				
					期間	平均温度(実測値)	平均湿度(実測値)	照明設定条件	生け水
試験1	2025年5月14日	現地(八代)	IV	なし	31日間	19.2℃	74.2%	1,000lux 12時間照明	水道水
試験2	5月上旬~下旬	農産園芸研究所	試験区のとおり	試験区のとおり	28日間	19.1℃	65.6%	1,000lux 12時間照明	水道水